

# カタロ通信

VOI.145

2010年 3月号

<http://www.e-kitazawa.com/>

## 榊北澤工務店

301-0855  
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-7  
TEL: 0297-60-1333  
FAX: 0297-60-1311  
e-mail: info@e-kitazawa.com

## カタロ

301-0855  
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12  
TEL: 0297-60-1666  
閉館日: 水曜日  
e-mail: kataro@e-kitazawa.com

## 甘味café 空~く~

301-0855  
龍ヶ崎市藤ヶ丘 7-1-12  
TEL: 0297-63-0730  
定休日: 水曜日  
e-mail: kuu@e-kitazawa.com

財団法人性能保証住宅登録機構加盟建設業許可茨城県知事(般-17)第22696号 宅地建物取引業者票茨城県知事免許(3)第5344号



2月吉日龍ヶ崎市、W様邸の「地鎮祭」が執り行われました

**カタロにて**

日時: 3月15日(月) 10:00~12:00  
27日(土) 13:00~15:00

- ★ミニブーケを作りります。花束としてプレゼントそのまま花びんに飾っても素敵です。
- ★体験 ¥3,000(全て込み)
- ★ご出産・お誕生日祝いに プリザーブドで飾ったおむつケーキを作りませんか。レッスン、オーダーお受け致します。

お問合せ・お申込み:  
片岡 090-7267-4498  
HP <http://p-f-cherie.petit.cc/>

**甘味café 空~く~で**  
一日オーナーになってみませんか!

ケーキ・和菓子・飲み物・ランチetc..  
ちょっとした喫茶店を貸しきってのホームパーティのようにたくさんの方々に腕ふるってみては!?  
もちろん私達スタッフもお手伝いさせていただきます。

★お友達やご夫婦で是非どうぞ!!

詳しくは 0297-60-1666(カタロ)まで

## ~おすすめ商品 今月の・Comドットコム~

### パナソニック洗面化粧台

### Cライン Rライン

先着3名様!!

サイズ 600mm. 750mm. 900mm. 1000mm. 1200mm

鏡がくもらず、キレイにクリア。ヒーターを使わないから、電気代はゼロ!

定価の**50%OFF**でのご提供です

お好きなサイズ選べます!

女性にうれしい三面鏡で。

**Cラインシリーズ**  
600mm  
ミラー2面鏡  
197,400円  
(税込)  
**98,700円**

**Rラインシリーズ**  
750mm  
ミラー3面鏡  
220,500円  
(税込)  
**110,250円**



※ 工事費は別途となります。  
※ お気軽にご連絡下さい。

## …北澤工務店&甘味Cafe空~く~から…

★ 3月 工務店は・・・つくば市O様邸、龍ヶ崎市S様邸『地鎮祭』  
龍ヶ崎市W様邸『上棟式』  
河内町I様邸『引渡し式』 の予定です

★3月 空のミニショップは・・・押し花CHIEKO夢の会さん 『押し花』  
ラパンさん 『アクセサリー・布バック』 です

日時: 3月18日(木)  
11:00~  
1,600円 (飲物付)  
※ご予約承ります



〜おやさいのコース〜 (彩りも素敵です)

たくさんの皆様の生の声を聞かせて頂きたいと思っております！是非、お越し下さい！



シェフS氏: 野菜ソムリエ

- 〜メニュー〜
- 食前に 黄色いトマトジュース  
北海道の余市郡仁木町から取寄せた黄金のトマトジュースです
  - 最初に 生ホタテのミルフィーユ  
マリネした生ホタテと香味野菜 トマトジュースをソースに
  - 前菜 新鮮野菜のバーニャカウダ  
新鮮な有機野菜をニンニクとアンチョビのソースで
  - 温物 白菜のシチュー パイ添え  
手回をかけて作るスペシャルソースに白菜を入れて
  - 主菜 つくばどりカブの揚げ出し  
ジュシーで柔らかい筑波鳥をやさいいだけでまとめた
  - 食事 切干ご飯 おこし 味噌汁  
旨みを凝縮した自家製切干しを混ぜご飯にしました
  - デザート 豆腐と梅のチーズケーキ  
しっとりした酸味のあるやさしいチーズケーキです

季節の有機野菜を和食の技術をベースに洋食、中華のバリエーションをふんだんに取り入れてます。アンチョビとにんにく、オリーブオイルの絶品ソースは特におすすめ！黄色いトマトジュースで食する生ホタテのミルフィーユなんて…なんて、もう、舌がとろけてしまいそうです。。とにかくおいいです！って健康的！！時には「がんばっている自分へごほうび」であげましょう！数に限りがございますので、お早めにお越し下さい。お待ちしております。

おさむのひとりごと



寒い日が続きますが、着々と自然界では春の準備が進んでいます。丸裸だった木々たちも、新芽のふくらみがかっきりとわかるようになりました。

いかがお過ごしですか。

今月号でこの『おさむのひとりごと』は120号、10年を迎えました。

《自分を励ますことば》

ぼくは来月43歳になります。もう43歳なのか、まだまだ43歳なのか…。いずれにしても生まれてから43年 15,695日 376,680時間を経たわけですし、誰もがそうであるように、ぼくにも様々な体験がありました。

皆さまはどうなのでしょう。ぼくの場合、楽しいことって、意外と覚えていないものです。つらかったことや苦しかったことの方が多く記憶に残っていますし、自分を心身ともに成長させてきたような気がします。

そんな時には必ずと言っていいほど『自分を励ますことば』に支えられてきました。これらのぼくの宝物は、感性論哲学の芳村思風先生、BE訓練の行徳哲男先生、セラピストのあけみちゃん、中学・高校の恩師の先生方、数々の旅行体験や研修体験、そしてお客様との出会いから得たものばかりです。

今月号から何回かに分けて、このぼくの大切な宝物を『ひとりごと』にまとめてみたいと思います。

《① 人は、体験をするために生まれてきた。》

『何のために生まれてきたのだろう』そんな沸々とした気持ちでぼくを支配していったのは、19歳のころ。この支配はぼくにあって強烈でした。自分の存在が段々と薄まっていく感覚。さらさらと流されていってしまうような感覚。人と比較することが思考/パターンとして繰り返されるようになり、劣等意識で悶々とした日々。そんな時に芳村思風先生の『感性論哲学』と出会います。はじめて読んだ本が『人間の格』でした。寝る間も惜しんで本を読む体験がこれが初めてでした。あるとき先生の講演会の中でのことでした。

『人は、体験をするために生まれてきたのです。』

こころの中がスカーッとする感覚でした。

『生きる』ということは、うれしいことも楽しいこともそうでないことも、その『体験』を味わい尽くすことなんだ。成功者となるのもよし、金持ちになるのもよし、失敗者でも苦痛でも、はたまた犯罪者となっても、それらには全てその体験からしか得られない『意味と価値』が必ずある。だから、正でも負でも、陰でも陽でも、唯一その人だけの体験なんだ。だからその体験を味わい尽くすことこそが、人生の意味そのものなんだ。そして『体験は、真実を語る力である』ともおっしゃいました。体験したものだけが真実を語る事ができるのです。

『人は、体験をするために生まれてきた』それが崩れ落ちたら、どうでしょう、景色が違って見えませんか？



「人間の格」  
芳村思風著書

《② まあまあな人生》

『北澤さん！あなたばねえ、なにをやっても、まあまあなんですよ！！まあまあそこそこ！！、そんな人間っ！！』

これは25歳のころ、ある研修会社の自己啓発セミナーの最中、あるセッションの緊張感高まる中での講師の罵声にも似た激しい言葉。

この言葉はきつかった。。確かにその通りだなあ、と…。勉強も運動も家庭環境もこれまで経てきたものも…。可もなく不可もなく…。朝起きて歯を磨いてご飯食べて会社行って、いつものように仕事をして親父とケンカして、母や妻に愚痴こぼして、家に帰って酒飲んで風呂入って寝て、また朝になって…。そんな繰り返し。ぼくの存在などあってもなくても大勢に変わりはない。。混沌とした社会、マスコミから流れるヘドロにも似た事件や品性の欠けらもない番組…。そんな中に生きるまあまあな自分。

その後数年を経て行徳哲男先生のBE訓練に参加しました。とても厳しい研修でした。そしてこの『まあまあな人生』の呪縛をぶち壊すことができたのです。繰り返しされる日常、まあまあな人生を乗り越えるということとは、いったいどういうことなのかわかったのです。それは、

『わくわくドキドキするような人生』

を歩むということです。それは『アタマ』ではなく

『こころ(感性)』の声、理屈を超えた世界に生きるということ。そういえば、わくわくドキドキすることなんて、あんまりなかったよなあ。理屈を超えた、わくわくドキドキするような毎日…。

実はそれって、すごく簡単で身近なことだったんです。朝日や夕焼けの美しさ、季節の移ろい、思えば自分は多くの人に支えられ、支えている。その『ひと』との種々様々な関わりと縁のキセキ…。自分のこころの奥底に目を向けてみたら、感性が鈍っていた自分に気づく。

そして、そのわくわくドキドキ本質は、この人生において『ほんとうにしたいこと』を見つけることです。これは、なかなか見つかるものではありません。でもそれを求め続け、それを手にし、行動に移せたら、どんなに素晴らしいことか！毎日がわくわくドキドキの連続ですよ！！ぼくは今から3年前、39歳のときにやっとそれをつかむことができました。そしてそれを今、少しずつ実現しはじめています。

自分がいたのかいなかったのかわからない、生きていたのかどうかすらわからない、そんな『まあまあな人生』なんてまっぴらです。無意識に年を重ねてしまうような人生は、ぼくは嫌だな。ごめんね。確かにこの時代この場所に存在して生き抜いた、という実感。ぼくはそんな『わくわくドキドキするような人生』を歩みたい。

今回は二つの宝物を紹介させていただきました。いかがでしょうか。それぞれ感じ方は違うと思います。まあまあな人生を送ることが大変なんだよ、なんて声も聞こえてきます。そこはまあ、『おさむはそう感じている』ということで、大目に見ていただけたらと思います。甘味cafe空〜くう〜でじっくりお話ししましょう！

恒例！  
お待ちかね！  
夢屋さん

餅と暮らしの道具展

場所: カタロにて  
日時: 3月4日(木)~3月9日(火)  
AM10:00~PM17:00  
(最終日は15:00まで)

『夢屋』の片山さんは、現在九州福岡県の耳納連山の麓に暮らしています。九州では、昔ながらの道具を職人さんが今でも作っています。使い勝手の良い、素敵な道具を皆様に今回も九州よりお届けいたします。

久留米餅、泥染の服、リハビリのバジャマ、定番のエプロン、小鹿田焼、木工、竹のざる

あなた【小鹿田焼】とは・・・  
三百年間一子相伝で日常の器を作っている国の重要無形文化財指定の焼き物です  
大分県日田市

夢屋 090-1883-4219

